

中学校英語における辞書指導について

Teaching the Use of English-Japanese Dictionaries in Junior High School English Classes

福 田 稔

『中学校学習指導要領解説 外国語編』における辞書指導に関する記述によると、英語学習において辞書は不可欠であり、3年間を通して常に英語学習のために使用することが求められている。しかし、3社の中学校英語教科書における辞書指導の記述を調べてみると、教科書によって大きな違いがあることが分かる。また、大学生への辞書使用に関するアンケート調査から、英語の辞書の使い方を知りたいと感じている割合が多いことが判明した。共通した問題として、辞書使用に関する学びの場が不足していることが挙げられる。この問題を解消するために、本稿では ICT を利用した辞書活用のための補助教材の提供を提案する。

キーワード：辞書指導、英和辞典、学習指導要領、中学校英語、ICT

目 次

- I はじめに
- II 学習指導要領における辞書指導
- III 辞書指導の有無と時期
- IV 内容の相違
- V 大学生へのアンケート調査
- VI 提案
- VII おわりに

I はじめに¹

辞書は(日本語・英語に係らず)語の意味を調べるための図書という認識が一般的である。しかし、近年、特に 2000 年代に入ってから日本国内で出版された学習者向けの英和辞典は、極めて有用な学習の道具へと進化している。例えば、『ウィズダム英和辞典』(三省堂、初版 2003 年発行)と『ユースプログレッシブ英和辞典』(小学館、初版 2004 年発行)は、大規模コーパスを活用した英和辞典である²。また、『レクシス英和辞典』(旺文社、初版 2003 年発行)は、英語母語話者の調査も加えて編纂された英和辞典である。これらの辞書の発行を機に、英語の実態を解き明かし、

学習者が抱く疑問への答えを与える役割も果たす英和辞典が多く出されることになった。

実際のところ、辞書はコストパフォーマンスにおいて極めて優れた図書である。というのも、辞書は一度購入すると、一番長く付き合う図書になるからである。例えば、一度読んで犯人やトリックが分かったミステリー小説を繰り返し読む人は少ないだろう。しかし、辞書は数年に渡って使い続けるのが普通であり、同じ語を何度も調べ直すことも珍しくない。

そこで、学校教育の中で辞書の使い方を学ぶ機会がどのように提供されているか明らかにするために、学習指導要領の関連する記述と中学英語教科書の記述を検討する。また、大学生へのアンケート調査の結果を分析し、今後の辞書指導への課題と提言を示す。

次の第Ⅱ節では、学習指導要領における辞書指導の記述を概観する。第Ⅲ節では、主要な中学英語教科書を取り上げて、辞書指導の記述が中学何年生用の教科書に記載されているか指摘する。教科書によって記述の時期と期間に相違があることが明らかとなる。第Ⅳ節では、辞書指導の記述内容にも教科書によって差があることを指摘する。第Ⅴ節では、辞書使用に関する大学生へのアンケート調査の結果を紹介する。第Ⅵ節では、辞書の使い方、活用の仕方を学ぶための提案をする。そして最後に第Ⅶ節で議論をまとめる。

Ⅱ 学習指導要領における辞書指導

1 学習指導要領の記述

『中学校学習指導要領解説 外国語編』における辞書指導に関する記述は、「第2章 外国語科の目標及び内容」にある「3 指導計画の作成と内容の取扱い」の「(1) 指導計画の作成上の配慮事項」において、次のように記されている³⁾。

(1) カ 辞書の使い方に慣れ、活用できるようにすること

授業での自己表現活動を自発的に行ったり、家庭での教科書から離れた英語学習などに持続的に取り組んだりする上で、辞書を活用できることは必要不可欠である。

辞書の使い方に慣れさせるためには、生徒が適宜辞書を繰り返し使用し、調べたい単語を辞書を使って自由に調べるということを普段から行わせる必要がある。

なお、辞書指導に関しては、3年間を通して適宜辞書を活用させることが大切である。

最初の段落から、辞書の活用が期待されるは授業と家庭の2つであることがわかる。この2つの学習の場が記されているのは、英語学習が途切れなく行われるためである。第2段落には、生徒に辞書を使うことに慣れるようにするため、普段から辞書を使わせることが述べられている。

最後の段落には、辞書指導は中学3年間を通して行われることが記されている。これらのことをまとめると、英語学習において辞書は不可欠であり、3年間を通して常に英語学習のために使用することが求められている。

しかし、中学校英語教科書における辞書指導の記述を調べてみると、教科書によって内容は異なっており、学習指導要領の要求と大きな差があることが分かる。第Ⅲ節と第Ⅳ節では、3社の中学校英語教科書における辞書指導の記述を検討比較する。

Ⅲ 辞書指導の有無と時期

本稿で検討する教科書は以下の通りである。全て初版は平成24年（調査した教科書の発行は平成26年）であるが、これは文部科学省による教科書検定が平成23年度に行われたためである。検定に合格しているのだから、学習指導要領の辞書指導に関する要求を満たしていると予想される。

- | | |
|----------|--|
| (2) 開隆堂 | Sunshine English Course 1
Sunshine English Course 2
Sunshine English Course 3 |
| (3) 三省堂 | New Crown 1 English Series
New Crown 2 English Series
New Crown 3 English Series |
| (4) 東京書籍 | New Horizon English Course 1
New Horizon English Course 2
New Horizon English Course 3 |

これらの教科書を調査した結果、辞書について記述があるか否かという点に関して、また、記述がある場合は指導する学年に関して大きな違いがあることが明らかとなった。それらをまとめると(5)のようになる。

- | | |
|-------------------------------|---|
| (5) Sunshine English Course 1 | 有 |
| Sunshine English Course 2 | 有 |
| Sunshine English Course 3 | 有 |
| New Crown 1 English Series | 無 |
| New Crown 2 English Series | 有 |

(7) Sunshine English Course 2 (p. 7)

辞書を読んでみよう

★英和辞典にはどんな内容が書いてあるでしょうか。

英和辞典

light [laɪt] (名) (光は発音しない)

見出し語

① 光
② 燈
③ 明るい
④ 色がやすい
動詞 ⑤ 火をつける

発音 (英) laɪt (名) (光は発音しない)

変形

名詞 ① light (名) (光は発音しない)
② lights (名) (光は発音しない)
③ light (名) (光は発音しない)
④ light (名) (光は発音しない)
⑤ light (名) (光は発音しない)
⑥ light (名) (光は発音しない)
⑦ light (名) (光は発音しない)
⑧ light (名) (光は発音しない)
⑨ light (名) (光は発音しない)
⑩ light (名) (光は発音しない)

動詞

① light (動) (光は発音しない)
② light (動) (光は発音しない)
③ light (動) (光は発音しない)
④ light (動) (光は発音しない)
⑤ light (動) (光は発音しない)
⑥ light (動) (光は発音しない)
⑦ light (動) (光は発音しない)
⑧ light (動) (光は発音しない)
⑨ light (動) (光は発音しない)
⑩ light (動) (光は発音しない)

英語

① light (名) (光は発音しない)
② light (名) (光は発音しない)
③ light (名) (光は発音しない)
④ light (名) (光は発音しない)
⑤ light (名) (光は発音しない)
⑥ light (名) (光は発音しない)
⑦ light (名) (光は発音しない)
⑧ light (名) (光は発音しない)
⑨ light (名) (光は発音しない)
⑩ light (名) (光は発音しない)

英語では1つの単語が動詞として使われたり、名詞として使われたりします。また、1つの単語がいくつかの意味を持つことがしばしばあります。

●やってみよう

1. 音読 次の語を辞書に出てる語順に並べましょう。
(1) ① enjoy ② rock ③ last ④ very ⑤ see
(2) ① tea ② town ③ table ④ tennis ⑤ today
2. 下線部の単語について、意味の違いを調べましょう。
(1) These are Kyoto dishes.
(2) I washed a lot of dishes.
3. 下線部の単語について、語順の違いを調べましょう。
(1) Your watch is very nice.
(2) I watched a soccer game on TV.
4. 辞書を見て、次の単語を使った文を書きましょう。
(1) like (2) have

(8) Sunshine English Course 3 (p. 7)

辞書を使いこなそう

★次の英文の下線部はどんな意味か、英和辞典で調べましょう。

He got off the train at a station.

2つ以上の単語が集まって、個々の語の意味を合わせたものとは別の意味を表すものを、熟語または成句と言います。このうち get up or get to のように(動詞+副詞/前置詞)によってできるものは一般に動詞と呼ばれ、英和辞典では動詞の類々の意味や例文のあとにまとめて示されています。その配列は動詞のあとに副詞/前置詞のアルファベット順にしたがっています。

左の例では、get の自動詞の項(画)①-⑩のあとに get across から始まる句動詞が並んでいて、get off は get into のあとに載っています。そこには(乗り物から)降りる(服などを脱ぐ)と2つの意味が出ていますが、上の英文に合う意味は「降りる」なので、全体で「彼は駅で列車を降りた。」となります。

●やってみよう

1. 次の英文の下線部の意味を調べましょう。
(1) We'll get to New York at ten.
(2) Kyoto got on the bus.
(3) I caught a big fish, but it got away.
2. 次の句動詞の意味を辞書で調べ、例文を読みましょう。
(1) turn on (2) come back
(3) go around (4) take off

しかし、問題と感じられる点もある。例えば、中学1年生で辞書を使って単語を見つけることができるようになったとしても、中学2年生にならないと、見つけた箇所になが載っているのかわからない。また、中学1年生でも句動詞を学ぶ機会があるのに、教科書では、中学3年生で初めて英和辞典と関連させて句動詞を学ぶという順序になっている。

2 New Crown 2 English Series

New Crown 2 English Series の優れた点は、(9) の引用から分かるように、英和辞典の使い方や記載してある情報について1ページにまとめていることである。

(9) New Crown 2 English Series (p. 139)

辞書の基本的な引き方と活用

① 辞書の基本的な引き方

① 次の文の **landed** の意味を辞書で調べよう。

◎ Suddenly, a gull **landed** next to Zorba. (p.108)

② 次の点に注意して、単語を探そう。

[1] 単語はアルファベット順に並んでいます。

[2] **landed** は動詞の原形 **land** に -ed をつけて、過去形になっています。**landed** を辞書で調べるときには、-ed を取り、**動詞の原形 land** で探します。

A 見出し語
アルファベット順に並んでいます。
land で探します。

B 発音表記
C 品詞
略語で示してあります。
◎ → 名詞, ○ → 動詞

D 意味

A **land** [lænd らん] 図

D ① (高に対して) 陸地。
(例文) After weeks at sea, the voyagers saw **land**.
海上での数週間ののちに航海者たちは陸地を見た。
→×a land, ×lands などとしない。

② (畑・敷地(む)としての) 土地。
• good **land** for crops 作物に適した土地
◎ 国, 国土 (country).
• my native **land** 私の母国

by land 陸上を, 陸路を。(例文) by sea (海路を), by air (空路を).

• travel **by land** 陸路を旅する
◎ 上陸する; 入港する; 着陸する; 着く。◎ **D**

• **land** at an airport 空港に着陸する
• **land** at Kobe 神戸に入港する
• The American astronauts succeeded in **landing on the moon**. 米国の宇宙飛行士たちが月に着陸することに成功した。

• give her advice 彼女に忠告を与える
• give it to him それを彼にやる →×give him it としない。
• Cows **give** us milk.
雌牛(めう)は私たちに牛乳を与えてくれる。
• Give me your hand and I'll pull you up.
手をこちらに出してくれ、ひっぱり上げてやるよ。
• The man did not **give** his name.
その男は自分の名前を言わなかった。→文字やことばなどで「名前を明かさなかった」という意味; say his name は「名前を口に出して言う」。

• Give me two tickets for the concert.
コンサートの切符を2枚ください。
• Give me your frank opinion.
私に君の率直な意見を聞かせてください。

付録

② 辞書の活用

— 辞書を使って例文を探そう

次の例文のように give + A + B の形のもの辞書の例文から見つけ、下線を引こう。

I will **give** Koji a book. (p.66)

one hundred and thirty-nine 139

しかし、辞書指導は中学2年生用の教科書にしか記載されていない。したがって、この教科書を使用した場合、学習指導要領が求めている「3年間を通じた活用」をどのようにして達成するのかわ明らかなではない。

— 190 —

3 New Horizon English Course 2

New Horizon English Course 2 の優れた点は、(10) から分かるように、辞書の使い方を Q&A という形式で載せていることである。学習者の立場からすると大変分かり易い。しかし、辞書については中学 2 年生用の教科書にしか記載されていないので、ここでも New Crown 2 English Series と同じ問題が生じる。また、(10) の引用から分かるように、英和辞典の使い方や記載してある情報については偏りがあり、また、説明の分量についても 1 ページにも満たない。

(10) New Horizon English Course 2 (p. 21)

**学び方
コーナー**
1

辞書の使い方

Q 英語の辞書を使うときのコツはありますか。

A 見出し語を速く見つけられるように、次のポイントに注意しましょう。

- 見出し語は漢文字から 2 文字め以降も全部、アルファベット順に並んでいます。
- ページの上にもそこに出てくる最初と最後の見出し語が示されているので、そのページに出てくる見出し語の範囲がわかります。
- 品詞を表す記号が示されています。

Ⓜ=名詞
Ⓜ=代名詞
Ⓜ=動詞
Ⓜ=形容詞

Ⓜ=冠詞
Ⓜ=副詞
Ⓜ=前置詞
など

■ 次のクロスワードパズルを、英和辞書や和英辞書を使って完成しましょう。二重のマス目に入ったアルファベットを並べると、ある単語ができます。

ACROSS →

- 「電車を乗りかえる」は ___ trains
- speak の過去形は？
- 「早起きの人」は early ___
- Becky は何という名前の女優？
- 「秋」は fall。またの名を？
- really (副詞) の形容詞形は？
- all right とほぼ同じ意味なのは？
- let's is let ___ の短縮形。

DOWN ↓

- happy (形容詞) の副詞形は？
- father は父親。より親しみをこめて呼ぶと？
- in (副詞) の反対語は？
- is は ___ の三人称単数現在形。
- is 前置の前で ___ となる。
- man の複数形は？
- 「位置について、用意、ドン！」は "On your ___, get set, go!"
- ことわざ「見逃しのことし」は Time fl ___.

答え： D [] [] [] [] [] [] [] [] [] Y

twenty-one ◀ 21

V 大学生へのアンケート調査

宮崎公立大学・平成 28 年度後期の英語学概論の受講生に対して、11 月 7 日に辞書指導に関するアンケート調査を実施した。この授業科目は 2 年生開講科目で、かつ、教職の必修科目である。したがって、英語に対して関心が高い学生が多く受講している。回答総数は 63 であった。回答者の学年の内訳は (11) の通りである⁴。

(11) 回答者の学年と人数

4年生	4
3年生	6
2年生	53
合計	63

本稿に直接関係のある質問事項として、英語の辞書の使い方を習ったことがあるか否かという質問があり、これへの回答数は以下の通りであった。

(12) 学校の授業で習ったことがある。	20	(31.7%)
学校の授業ではないが、習ったことがある。	2	(3.2%)
自分で学んだ。	27	(42.9%)
習ったことはない。または、覚えていない。	13	(20.6%)
無回答	1	(1.6%)
合計	63	(100.0%)

(12)の「学校の授業で習ったことがある」と回答した20名の学生が、中学校、高校、大学のどの教育機関で習ったのか問う質問もあり、その内訳を(13)に記した。

(13) 中学校	7	(35.0%)
高校	11	(55.0%)
大学	2	(10.0%)
合計	20	(100.0%)

本稿で考察の対象としている中学英語教科書は平成24年の初版であるため、アンケートに回答した学生はこの教科書を使用していない。しかし、学校の授業で辞書指導を受けたと回答した学生が全体の3割ほどしかおらず、7割が学校での辞書指導を受けていないという結果は注目に値する。

また、「現在良く使っている英語の辞書が電子辞書である」と回答した学生45名のうち、10名(22.2%)が電子辞書の「使い方を知りたい、教えてほしいと感じることがよくある・時々ある」と回答している。これに対して、「現在良く使っている英語の辞書が紙の辞書である」と回答した学生は19名いたが、その中の9名(47.3%)が紙の辞書の「使い方を知りたい、教えてほしいと感じることがよくある・時々ある」と回答している。

通常、紙の辞書には「まえがき」等に続いて使い方の説明が必ず載っている。したがって、使い方を知りたいのであれば、その説明を読めばかなり理解が深まるはずである。約半数の大学生が使い方を知りたい、教えてほしいと感じているという結果から、辞書に使い方の説明が載って

いることすら周知されていないという実態が窺われる。

VI 提案

第Ⅲ節から第Ⅴ節までの調査で共通して明らかになったのは、辞書の使い方を学ぶ機会が不足しているということである。中学においては、使用する教科書に影響されず、持続的に辞書活用を学ぶためにはどのような手段が考えられるだろうか。また、中学を卒業した後も、辞書の使い方を知りたい、学びたいというとき、どのような手段が考えられるだろうか。具体的には英和辞典の辞書指導を前提として、本稿では、以下のような ICT を活用した辞書指導のための教材開発を提案する。

1 自由にアクセスできるサイトの開設

今後は学校教育の中で ICT がこれまで以上に活用されると期待される。そこで、インターネット上に自由にアクセスできる、辞書使用を学ぶためのサイトを開設することを提案する。

これによって、辞書の使い方を学ぶ時期に制限が無くなる。つまり、中学生であれ、大学生であれ、必要に応じて、また、段階に応じて自由に学ぶことが可能となる。これと同時に、使用する教科書の種類に影響されずに、同一の内容を学ぶことが可能となる。

実際には、既に英和辞典の使い方等について解説したネット記事が公開されており、また、動画配信サイト youtube 等でも英和辞典の使い方を説いた動画が公開されている。しかし、それらは主として文字情報であったり、個人の視聴者を対象としている動画である。ここで提案しているサイトは学校教育での使用を前提とした、補助教材である。

2 段階を踏まえたコンテンツ

コンテンツは 3 つに大別する。1 つは(主として中学生を想定した)初学者向けのコンテンツ(カテゴリー 1)である。これは英和辞典の基本を説くことが中心となる。もう 1 つは高校生から大学・社会人向けのコンテンツ(カテゴリー 2)である。こちらは英和辞典の活用法を説くことが中心である。これらのコンテンツは必要性や要望等に応じて定期的に修正する。具体例を以下に挙げる。

(14) カテゴリー 1 の例

- a. 英和辞典とは何か。
- b. 単語や熟語の探し方。
- c. 英和辞典には何が書いてあるのか。英和辞典で何が分かるのか。

- d. 中学英語教科書の巻末にある単語リストとはどう違うのか。
 - e. 英和辞典で発音は分かるのか。
- (15) カテゴリー2の例
- a. 紙の辞書と電子辞書の長所と短所について。
 - b. 英和辞典にはどんな工夫がされているのか。
 - c. 英和辞典とコーパス。
 - d. 英和辞典の例文。
 - e. 英和辞典で語源を調べる。

第3のカテゴリーは、出版されている英和辞典の特徴を説明したコンテンツである。この種のコンテンツの作成には出版社の協力が必要不可欠である。

3 動画による説明

全てのコンテンツは動画で配信する。また、授業での使用や個人での視聴が気軽にできるように、1つのトピック（例えば、(14a)の「英和辞典とは何か」など）については、数分程度に収める。

VII おわりに

本稿を締めくくるにあたって、課題について触れたい。第VI節で提案したように、辞書使用を学ぶためのサイトを開設した場合、学習者へのサイトの周知が本提案の成否を決める大きな要因になる。したがって、当該サイトを教師や生徒・学生へどのようにして周知するかが課題となる。

『英語教育』（大修館書店）などでの紹介も一案であるが、さらに教科書出版社と辞書出版社の協力が必要となる。例えば、中学英語教科書の出版社に対しては、教師向け指導書にサイトの紹介を載せてもらい、生徒に周知して頂くようよう要請することが必要になるだろう。また、辞書出版社には、辞書の箱に巻かれる帯や、辞書の適切な箇所にサイトの紹介を載せてもらい、積極的に活用するよう購入者に促すことが必要になる。

言うまでもなく、本提案を実現するには、様々な準備と検討が必要となる。本稿がその出発点になれば幸いである。

作権協会とイラストレーター・池田八恵子氏から許可を頂いている。

- ² 英和辞典によって使用しているコーパスは異なっている。しかし、どのようなコーパスを使用したのかという点については、辞書によって明示しているものもあれば、明示していないものもあり不統一である。例えば、『ユースプログレッシブ』(pp. 10-11)は紙面を割いて使用したコーパスについて解説している。
- ³ (1)は『中学校学習指導要領解説 外国語編』(平成20年9月25日発行)のpp. 49-50から引用した。
- ⁴ 使用したアンケート用紙は付録に掲載した。

参考文献

『中学校学習指導要領解説 外国語編』文部科学省、2008年(平成20年)。

英和辞典

『ウィズダム英和辞典』、三省堂、2003年(平成15年)。

『ユースプログレッシブ英和辞典』、小学館、2004年(平成16年)。

『レクシス英和辞典』旺文社、2003年(平成15年)。

雑誌

『英語教育』大修館書店。

教科書

『Sunshine English Course 1』開隆堂、2012年(平成24年)。

『Sunshine English Course 2』開隆堂、2012年(平成24年)。

『Sunshine English Course 3』開隆堂、2012年(平成24年)。

『New Crown 1 English Series』三省堂、2012年(平成24年)。

『New Crown 2 English Series』三省堂、2012年(平成24年)。

『New Crown 3 English Series』三省堂、2012年(平成24年)。

『New Horizon English Course 1』東京書籍、2012年(平成24年)。

『New Horizon English Course 2』東京書籍、2012年(平成24年)。

『New Horizon English Course 3』東京書籍、2012年(平成24年)。